

会 議 要 録

会 議 名	第27回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	平成31年(2019年)2月19日(火) 午後2時～3時40分		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者(敬称略)	委 員	金子 富子、中嶋 廣一、林 智喜、綿田 直樹、内田 智、堀 武彦、 酢屋 善元、吉岡 幸造、酒井 文博、山村 英夫、野田 明美、 大日向 由紀子 計12名	計19名
	説 明 者	(委員、事務局等)	
	事 務 局 等	大野生活安全部長、福島防犯課長、安岡主査、佐藤主査、青木主任 計 5名	
欠席者(敬称略)	福島 則幸、竹川 沙耶、清水 栄、北島 剛、加藤 明人、鈴木 麗加、櫻井 利行(代理：佐藤防犯係長)計7名		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度(2018年度) 生活安全対策 事業実績報告について 2 市内の犯罪発生状況と対策について 3 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について 4 その他 		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1：平成30年度(2018年度) 生活安全対策 事業実績報告 ● 資料2-1：都内及び市内刑法犯認知件数の推移 ● 資料2-2：平成30年(2018年) 犯罪発生状況対比表 ● 資料2-3：八王子市内振り込め詐欺などの特殊詐欺被害認知状況 ● 最新委員名簿 		
会 議 の 内 容	(次のとおり)		
会 議 録 署 名 人	令和元年 6月 6日 署名人 綿田 直樹		

会議の内容 【 】：発言者

1 開 会

【福島課長（事務局）】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 途中改選による新任委員の紹介及び挨拶

2 部長挨拶

【大野部長（事務局）】

- ・ 日頃より委員の皆様には本市生活安全対策に様々な形でご協力を賜り御礼申し上げます。
- ・ 2月10日に夢街道駅伝が開催されて、今年度市内で行われる大きなイベントは終了したが、3月23日に「防犯防災フェア」をJR八王子駅南口で開催するので、是非ご協力いただきたい。
- ・ 新年度には、東京オリンピック・パラリンピックのプレイベントとして南大沢地区で自転車関連のイベントを開催し、天皇陛下の退位と即位に関する行事も予定されているので、宜しく願います。
- ・ 警察では既に一部で人事異動が出ているそうだが、我々も4月で数人が交代するかもしれない。また、夏には市議会議員選挙も予定されているので、議会の顔ぶれも少し変わるだろう。
- ・ 長きに渡って参加された委員が本日で最後となる。これまでご協力を賜り、お礼を申し上げます。
- ・ 本協議会の委員の皆様においては、関係機関との情報共有、意見交換等を通じてご意見を出していただき、その内容をさらに市民の安全安心の向上に反映させていきたい。

3 開催

【綿田会長】

- ・ 只今から第27回生活安全対策協議会を開催する。

【福島課長（事務局）】

■協議会の成立

- ・ 委員総数19名のうち、代理の方を除いて12名の委員が出席されており、過半数を超えたため、本協議会は成立する。

■情報公開

- ・ 本協議会は、条例施行規則第6条9項に基づき原則公開となっているが、傍聴人はなし。
- ・ 協議会の議事録は、原則として発言者の名前を記載した要点記載方式であり、内容の正確さを記すため、会長に確認、署名をいただいている。

議題1 平成30年度 生活安全対策 事業実績報告について

【安岡（事務局）】

- ・ 資料1に沿って説明。

質疑応答

- ・ 特になし

議題2 市内の犯罪発生状況と対策について

【佐藤（事務局）】

- ・ 資料 2-1～3 に沿って説明。

【佐藤（事務局）】

- ・ 補足になるが、資料 2-3 タイトル左の「カード詐欺被害における その後の引き出し額を含まない」との文言について説明すると、まず被害者からキャッシュカードを手交するとともに、暗証番号を聞き出し、その後に預金を口座から引き出すという手口があるが、この資料の集計には含まれてはいないということ。

質疑応答

【金子委員】

- ・ 資料 2-1 の「刑法犯認知件数」と資料 2-2 「犯罪発生件数」はどう違うのか。

【佐藤（事務局）】

- ・ 表現は違うが、同じものである。

【金子委員】

- ・ 特殊詐欺の犯人は捕まっているのか。

【綿田会長】

- ・ その件については、これからの議題で各警察署から報告してもらう。

議題3 各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策について

【吉岡委員】

- ・ 特殊詐欺被害については、都内で 3913 件、84 億 5 千万の実質的被害が出ている。そのうち還付金詐欺は約 800 件と 21%をしめており、10 億 6 千万の被害となっている。
- ・ 八王子警察署管内では 56 件被害のうち還付金は 9 件約 800 万円となっている。
- ・ 特殊詐欺対策は、自動通話録音機や留守電機能の活用など犯人と接触しない方法をとっている。
- ・ 還付金詐欺に関して、資料の新聞記事にあるように、市民が犯人の誘導に従って ATM に行き、電話しながら ATM の操作をしていると、感知システムが電話の電波を拾って、音が鳴り、「ATM での携帯電話の使用はやめてください。」というアナウンスと画面のところなどに警告灯が点滅するものを導入した。
- ・ 日本文化大学に協力をお願いして、学生が作った特殊詐欺被害防止ポスターを西東京バス約 130 台の車内にポスター掲示をお願いしているところ。
- ・ 検挙については、「だまされたふり作戦」を行っているものの、最近は犯人も警戒して被害者に警察に電話させないようにしており苦戦している状況もある。
- ・ 検挙しても組織の末端であり、暴力団まで行かない。アジトまでたどり着くのはなかなか難しい。

【酒井委員】

- ・ 平成 30 年の刑法犯認知件数は前年比減少となった。しかし特殊詐欺については、管内で平成 30 年は

29 件約 2700 万被害が出ている。検挙も 6 名ほどしたが、主犯格になかなかとりつかない。今までは現金自宅まで取りに来る手法が多かったので、待ち構えて捕まえることができたが今年に入って 3 件 1100 万被害が出たが、いずれもおびき出し、都心にお金を持ってこさせて受け取る手法で被害に遭ってしまった。金融機関にホットライン通報をお願いしているが、顧客なので躊躇して連絡しないケースがある。先日の 200 万手交のケースは、娘と一緒にいたので金融機関は信じてしまった。また、400 万金融機関に引き出しに来た夫婦のケースは、署の係員が 2 時間説得してやっと本当のことを話してくれた。

- ・ 特殊詐欺については防犯協会とキャンペーンを行ったり、京王バスや西東京バスでアナウンスしてもらっているがまだまだ浸透していない状況もある。青パトで広報してもらっているが、防災無線でアナウンスしている市町村もあり、八王子市もやってもらいたい。
- ・ オートバイ盗が増えているということだが、高尾管内でも中高生の非行グループが連続してオートバイを盗んだが 7 名検挙した。ハンドルロックなどの対策を取ってもらう必要がある。
- ・ 先日テレビと新聞で報道された、高尾駅で発煙筒を投げた件については、防犯カメラがもとで検挙できた。まだまだカメラの設置が少ないので市と協力しながら設置をすすめている。
- ・ 特に 300 万以上観光客が訪れる高尾山は、山岳救助隊年間 100 件出動している状況と、更なる登山客の増加に対応するため防犯カメラの設置についてお願いしたところ、町会、薬王院、東京都の管理する山頂において設置を快く引き受けてくれた。防犯カメラをもとに、安全安心なまちになるよう、また、いろいろな犯罪に警察も負けられないよう対策を取っていくので引き続き協力、支援をお願いしたい。

【佐藤防犯係長】

- ・ 刑法犯認知件数は町田市の一部を含めた数字となるが 1,334 件であり、昨年と比べ 104 件減少しており平成 21 年の開所以来年々減少している。
- ・ 一方で特殊詐欺については平成 22 年は 21 件だったが、去年は町田市を含めて 45 件で倍以上となっており、今年はずでに 8 件発生している。
- ・ 今月から管内 10 万世帯に全署員が訪問して注意喚起を実施している。
- ・ 去年は八王子市では 35 件発生しているが内訳としては、オレオレ詐欺が 21 件で全体の 47%、架空請求詐欺が 18 件で 40%、還付金詐欺が 6 件で 13%、年齢層は 80 歳代が 15 件で 33%、70 歳代 14 件で 31%を占めている。また、男女別では女性が多く 69%を占めている。
- ・ 「守りたい通信」を作成して新聞折り込み実施予定。
- ・ 防犯講話、キャンペーンなどあらゆる機会です特殊詐欺撲滅推進していく。

質疑応答

【福島課長（事務局）】

- ・ 特殊詐欺の広報については、防災無線は難しいが、各警察署からの連絡に応じて青パトを巡回させて広報しており、今後も積極的に行う。

【中嶋委員】

- ・ 去年の夏に発生したひき逃げの事案で、公園に設置された防犯カメラの記録を活用して犯人検挙に至り、

町会に感謝状が贈られた。

- ・ 今年5月に改元が行われるが、改元を悪用してどのような詐欺が行われるのか。
- ・ 高齢者等の個人が金融機関で高額の前金を引き下ろす場合は、行員等が積極的に声掛けを行っているが、法人が高額の前金を引き下ろす場合も同様の対応をしてほしい。

【堀委員】

- ・ 高尾防犯協会では「ふれあいプレス」を作成し新聞折り込みにて先日配布したが、そこに掲載しているのが、改元に乗じた詐欺の手口で、銀行協会を名乗る封書にて、改元にあわせて行われる銀行法の改正を機に、紛失や盗難による不正防止のため、キャッシュカードと暗証番号を記入させた調査シートを送らせるという詐欺で、既に何件か被害が出ている。

【綿田会長】

- ・ 総合消費税未納で告訴するとの架空請求ハガキが先日届いた。

【酒井委員】

- ・ 心当たりがない話は相手にせず無視することが大事。ハガキに書いてある番号に電話して話を聞いてしまうと、巧みな話術で騙されてしまう。電話に出ないため留守番電話を活用することや、市で貸与している自動通話録音機を取り付けるよう勧めている。

【中嶋委員】

- ・ 我々の町会にも同様のハガキが届いたとの話が数件あったが、多くが女性の名前で送られてきているようだ。

【大野部長（事務局）】

- ・ 市役所職員のところにも同様のハガキが届き、すぐに妻がハガキに書いてある番号に電話してしまったそうだが、向こうの電話の対応が間に合っていなかったのか、幸いにも誰も出なかったとのこと。

議題4 その他

【大日向委員】

- ・ 昨年度の「消費生活センター事業概要」が完成したので本日配付する。
- ・ 相談件数については平成29年度4,148件で都内上位の方である。原因として「はれのひ」の件が200件増えていることが挙げられる。
- ・ 今年度はすでに4,600件ぐらいの相談がある。通常は月350件程度来ているので今年度は5,000件にせまる勢いである。増えた要因はさきほど話に出てきた架空請求ハガキの件。平成29年度は年間89件程度相談を受けていたが、今年8月から9月ぐらいには1日100件を超える相談があった。たくさん送りすぎていて、通話中でかからないという相談やかけなおすので待っててくれと言われたがかかってこないという相談もあった。
- ・ 市のホームページトップやツイッター等にも載せて注意喚起を図った。
- ・ 手口は弁護士を照会され、すぐに10万円振り込むように言われるもの。
- ・ 統計を取ると60-80代ですべて女性であった。個人情報保護法前の名簿使っている可能性がある。結婚して20年経ったのに旧姓で届いているというケースもあった。
- ・ パルシステムが配達時に注意喚起チラシを入れてくれるとのことで、明日配送員向けに講座を行う。

- ・ 年代別相談件数では 70 歳以上が多いが八王子市の特徴として 20 歳代増えている。原因は八王子は学生が多いこと。また、20 歳になるに悪質事業者被害にあうことが多い。悪質事業者は「未成年者取り消し」されたくないために契約日を 20 歳の誕生日後に設定する。成人年齢引き下げになると 18 才の被害が増えるのではと懸念している。
- ・ 販売形態としては、店舗購入よりも通信販売が多い。ちなみにクーリングオフは不意打ちの契約のみで訪問販売などには適用されるが、通販は自ら電話しているためクーリングオフは効かない。こういったことをもっと周知することが必要と考えている。

【内田委員】

- ・ 防犯協会と母の会が連携し、年金支給日に駅頭でのチラシ配布を今月 15 日から始めたところ年 6 回を予定している。

【堀委員】

- ・ 商店会で、四谷の交差点の陣馬街道面と高尾街道面に防犯カメラを 1 台ずつ設置したとのこと。

【酢屋委員】

- ・ 南大沢は母の会の活動が活発である。去年母の会のメンバーが防犯川柳を作ったり、今年はキッズパトロール隊立ち上げようとしている。キッズパトロールは毎年 7 月頃市と協力して、子どもたちを青パト乗せ広報活動を行い、南大沢駅前キャンペーンを行うものだが、常設できるよう準備中である。
- ・ 従来から落書きけしを行っており八王子市と町田市と両方で行っている。
- ・ せっかく大学が多いので、防犯に関する研究を委託してはどうか。

【佐藤（事務局）】

- ・ 昨年初めての課題解決プロジェクトを明星大学で行った。今年も東京薬科大学で行う予定。

4. 閉会

【綿田会長】

- ・ これで、第 27 回八王子市生活安全対策協議会を閉会いたします。

【福島課長】

- ・ 次回の協議会開催予定は 6 月を予定している。
- ・ 会議録については後日送付する。